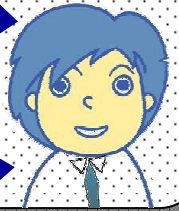




# ねっどわーく



H24. 11. 21 No.52

## ■来年度に向けて

近頃、めっきり寒くなり、研究よりもお寒い状態になってしまい申し訳ありません。蜂谷先生の授業を28日に控えているのですが、来年度に向けて考えていることを、順不同ですが書き出してみたいと思います。

とはいうものの、独断ではチームとして研究を進めていくことにはならないので、のちの研究推進委員会や研究全体会で、ちゃんとしたものを提案します。

### ①議題をどうするか

先生方の一番の悩みどころだったのではないのでしょうか。で、具体策として考えていることなのですが…。

#### <その1>

年間計画のふり返り…今年度、各学級（学年）で、議題としてあがったものを年間計画にしるし、来年度にいかしていきたいということ。

例えば、宮坂先生が行ったような議題、（たてわり班の6年生としての悩み、またそれを支える下学年のフォロー）は必ず立ち上がってくるようなものだと思うので、その時期に位置づけていくとか。

#### <その2>

単発で、議題が立ち上がってくることもあると思うけれど、やはり、他教科や行事との関連が必ず出てくると思うので、学級経営案とリンクするような、何かを可視化できないか。

#### <その3>

子どもたちにとっての必要感とはいうものの、なかなか難しいところもあると思うので、子どもたちの経験値を高めしていくために「子どもの声を大事にしながら、子どもと教師がいっしょに議題を立ち上げていくこと」ができるのではないか。教師の青写真に、子どもをはめていくという意味ではなく。（特に、低・中学年）

### ②話し合い活動を充実させるために

#### <その1>

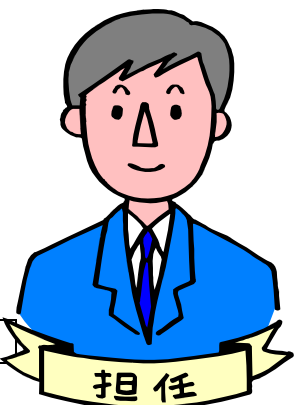
年間35時間+αで、そもそも育つわけがないので、教科でも子どもたちに任せる部分を仕組み、軽い気持ちで、お互い授業を見合うなどのことをやってはどうか。

#### <その2>

杉田先生からあるような（スキルのなものになってしまうけど）、構造化・可視化・操作化 あたりの手法を整理していくこと

他にもありますが、今号ではまず上の2点について で、とめておきます。

裏に、昨日の教務主任・研究主任合同研修会で、発表してきたレジメがあります。



## 子ども自らが生活を創り出すということ

### 天童市立長岡小学校 鈴木伸治

「学校という小社会の中において、自立（自律）や共生を学ぶことが、特別活動の役割である。」  
研究を進めてきて、およそ半年。研究を公開したことにより、今後の方向性やめざす授業の姿が見えつつあります。

### 子どもたちにとっての議題の必要感

どの分科会でも「そもそも、議題が子どもたちにとって、解決の必要感があったのか。」ということが話題になりました。議題は、子どもたちにとって切実感あるものでなくてはなりません。議題提案を子どもたちによる、子どもたちのためのものにしながら、指導内容も明確になるように工夫をしたいと思います。

### 話し合い活動を通すということ

それぞれの考えを互いに認め合いながら、集団決定を求める。そのことが、自分たちのよりよい暮らしを創っていくということにつながるようにしたいと思います。話し合い活動を通して思考力・判断力を養うことと、日々の授業における言語活動の充実を通して、子どもたちの言葉にこだわり、理解を深めていきます。

### 子どもの生活と学習をむすぶ

今回の公開研究発表会から、指導者は、子どもたち一人一人の思いや生活をしっかり見つめることの大事さに改めて気づかされました。

今回ご指導いただいたことをもとに、子どもたちが、自らの生活を変えていくような成長を願い、今後も授業実践を積み上げていきたいと思えます。

#### 【特別活動の目標】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

- ・提案理由が明確か。  
心から思いや願いを語っているか。
- ・全員がその提案に納得しているか。
- ・年間 35 時間 +  $\alpha$  という限られた枠の中で  
(1) (2) の計画を持つ。  
…今年度の議題をふり返る。  
→来年度、立ち上がってきそうな議題を予測（あくまで予測）。
- ・学級経営、学年経営および他教科との関連を図っていく。  
特に、学級経営の部分では、授業と生活における指導観・教育観・子ども観を同ベクトルにしていくこと。（担任力の向上）

- ・考えや意見・思いや願いを語れるようなあたたかい学級の雰囲気が構築できているか。  
→学級経営と関連
- ・他の話を寄り添って聴くことができるか。
- ・自分の考えや意見・思いや願いを語れるか。  
→話し合い活動にコミットしているか。  
…学級活動の時間だけでは育てられないので、他教科でも同じ活動を仕組む。  
（対話・交流）（討論・説得・納得）
- ・教師の出…どこで出るのか？

自己決定—集団決定—自己決定へ

#### 【スキルの意味合いから】

- ・話し合い活動の構造化・可視化・操作化の方法を探る。

#### 【なすことによって学ぶ】

- ・子どもたちの自主的な活動を一層追求していくこと、すなわち、子ども自身の生活を変えていく。そのための教師のスタンス。価値付け、勇気付け。
- ・子どもたち自身が、実践を通して学んだことを明確に語れるか。自分たちの課題を明確に語れるか。